

現代思想としての清沢満之

真 宗 ・ 仏 教

やすとみ しんや

安富信哉 著

▼四六判・上製カバー・二六四頁・本体二、八〇〇円十税

2019年3月刊行



現代における清沢思想の意義を見直し、現代人に「同時代的思想家」としてのあり方を問い直す渾身の論考など10篇を収載。

【目次】

序にかえて(西本祐攝)

I 論文篇

清沢満之の公共思想

はじめに／一、内観反省から浩浩洞へ／二、『有限無限録』の公共思想／三、公共性の回復——「精神主義」へ／むすび——自律と協同

清沢満之における念仏——自己回復への道

はじめに／一、清沢への疑問／二、念仏為本の伝統／三、『他力の救済』／おわりに

宗教的「個」の課題——「精神主義」における自己と他者

一、『我』の時代／二、『我』と「他者」／三、宗教的「個」の形成と特質／四、『今ノ世』の独我論的状况と「精神主義」／五、宗教と倫理の葛藤

明治中期における宗教と倫理の葛藤——清沢満之の「精神主義」を視点として

はじめに／一、明治仏教と倫理／二、倫理から宗教へ／三、宗教から倫理へ／おわりに

現代思想としての清沢満之——そのカレイドスコープの一視角から

はじめに／一、私の「精神主義」研究／二、研究に見出されたこと——宗教的「個」の思想として／三、『精神主義』再考の諸点——倫理問題を手がかりに／おわりに

II 講演篇

清沢満之と「精神主義」

はじめに／一、危機の諸相／二、危機の内観／三、回心・転機の教学

個立と協同——石水期・清沢満之を手がかりとして

はじめに／一、石水期について／二、『在床懺悔録』／三、『他力門哲学骸骨試稿』／おわりに

近代と真宗——宗教的「個」の系譜

一、『近代と真宗』への一視点／二、『種の論理と、時代としての近代』／三、清沢満之における宗教的「個」／四、高木顕明における宗教的「個」／五、佐々木月樵における宗教的「個」

人間成就の教育——清沢満之の教育観

はじめに／一、自己の修養・他己の開発／二、ソクラテス的教育法／三、議論と大笑い／四、教育勅語・体制のなかで／五、浄土真宗の学場／六、独尊子の養成／おわりに

今、清沢満之に憶う——生誕一五〇年にあたって

一、清沢満之没後一〇〇年、生誕一五〇年／二、『心の習慣』／三、土族の家柄からくる武士的精神／四、外国語を通して開明的な精神を養う／五、『土徳』に育まれた宗教的精神・母の残した求道的精神／六、一生を貫く帰依三宝の精神／七、大いなる気概、理詰めの体質／八、満々たる自負心の裏にある深い不安／九、宗教の主體的・求道的・思想的探究／一〇、清沢先生の僧伽への祈り／一一、何によって「不安に立つか」

解説(名和達宣)

注文書	
(書店印)	
ご担当	様 冊
安富信哉 著	法藏館
現代思想としての清沢満之	本体二、八〇〇円十税
ISBN: 978-4-8318-8770-2 C3015	住所
お名前	お電話

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp